

2025 年 12 月 18 日

株式会社イー・ラーニング研究所

8 割以上の親が「習い事・学習塾経験が子どもの成長につながった」と実感！

## 「習い事・学習塾に関する意識調査」

～非認知能力や多様な価値観の習得など学校外活動ならではの学びに期待が高まる～

e-ラーニングに関するサービスの様々なコンテンツを提供する株式会社イー・ラーニング研究所（代表取締役：吉田智雄、本社：大阪府吹田市 以下、イー・ラーニング研究所）は、子どもがいる親世代を対象に「習い事・学習塾に関する意識調査」を実施いたしました。

その結果、8割以上の親が子どもに習い事や学習塾などの学校外活動をさせた経験があり、その理由として学校では得られない人間関係や体験を求めていることが分かりました。また、習い事選びにおいて7割以上の親が「非認知能力」の育成を意識しており、習い事や学習塾などの場が子どもの「第3の居場所」としての役割にも期待が高まっていることが読み取れる結果となりました。

### 【「習い事・学習塾に関する意識調査」概要】

調査方法：紙回答

調査期間：2025年11月6日(木)～11月28日(金)

調査対象：子どもを持つ親、親族に子どもがいる方 計339人

※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「イー・ラーニング研究所調べ」と明記してください

### 調査結果概要

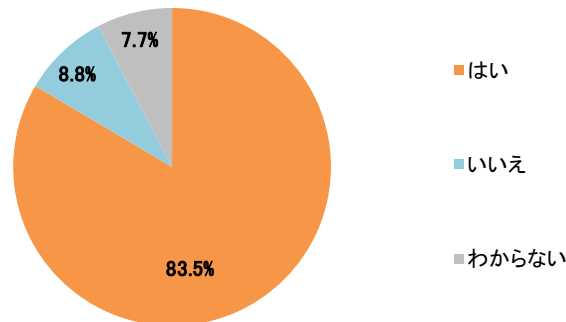
- ① **約 8 割の親が子どもに習い事などの学校外活動を経験させ、「成長を感じる」と回答！**  
学校外での活動が、親にとって子どもの成長を実感する機会となっていることが明らかに。  
⇒学校外活動の経験を子どもにさせたことのある親は約 8 割にのぼった。また、活動を通して「成長を感じる」と回答した親は約 8 割に達し、学校以外の場での経験や人との関わりが、子どもの成長に大きく寄与していると親が実感していることが示された。
- ② **学校外活動を選ぶ際に「非認知能力」を意識する親は 7 割以上！**  
技術向上だけでなく、内面の成長も重要な判断基準になっていることが判明。  
⇒学校外活動を選ぶ際に非認知能力を意識している親は 7 割を超えた。この結果から、保護者は学習や技術の習得だけでなく、将来生き抜くために必要な力の育成も求めていることが読み取れる。
- ③ **習い事や学習塾などの学校外活動へ期待していることは「自己表現力・自信」の成長が最多回答！**  
得られる経験として「他者との交流」などが挙げられ人間関係の構築を重視している結果に。  
⇒習い事や学習塾などの学校外活動に期待する成長は「自己表現力・自信」が上位に挙げられた。また、得られる経験としては「年齢や学校が異なる子どもたちとの交流」が最も多い回答となり、多様な関係の中での成長を親が実感していることがわかった。
- ④ **習い事などは「挑戦や成長」「多様な価値観」を学ぶ重要な第 3 の居場所に！**  
家庭・学校以外での役割に、自己研鑽や視野を広げる機会としての期待が高まる  
⇒習い事などは第 3 の居場所としての役割について、「挑戦や成長の場所」および「多様な価値観を学ぶ場所」が最多の回答となり、子どもの世界を広げられるコミュニティとして機能していることがうかがえる結果となった。

## 1. 約 8 割の親が子どもに習い事などの学校外活動を経験させ、「成長を感じる」と回答！

学校外での活動が、親にとって子どもの成長を実感する機会となっていることが明らかに。

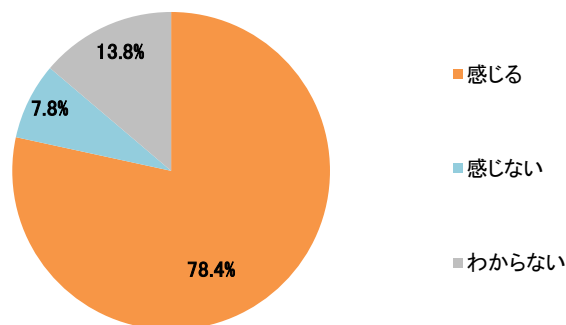
子どもがいる親世代に「子どもに習い事・学習塾などの学校外活動の経験はありますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「はい」(283)と回答した親は約 8 割にのぼり、学校外活動への参加が多い傾向にあることが伺えました。また、「はい」と回答された方に、「習い事や学習塾での周囲の人との関わりを通して、成長したと感じますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「感じる」(222)という回答が約 8 割に達しました。このことから、多くの保護者が、学校外活動での経験や周囲との関わりが子どもの成長に寄与していると実感していることがうかがえます。

Q. 子どもに習い事や学習塾などの学校外活動の経験はありますか？＜SA=339＞



Q. 上の質問で「はい」と回答された方に質問します。

習い事や学習塾での周囲の人との関わりを通して、成長したと感じますか？＜SA=283＞

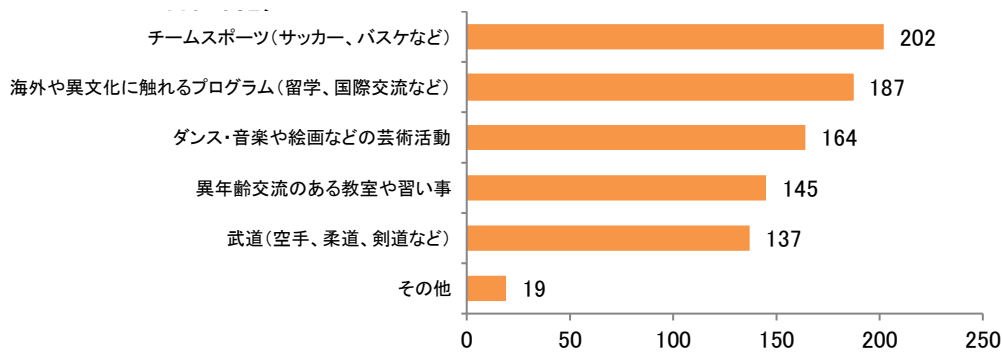


## 2. 学校外活動を選ぶ際に「非認知能力」を意識する親は 7 割以上！

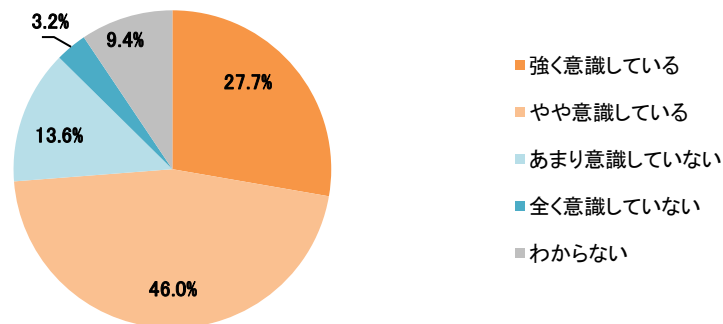
技術向上だけでなく、内面の成長も重要な判断基準になっていることが判明。

「どのような習い事・学習塾または、学校外活動がよいと思いますか？＜MA＞」と尋ねたところ、「チームスポーツ(サッカー、バスケなど)」(202)が最多となり、次いで「海外や異文化に触れるプログラム(留学、国際交流など)」(187)、「ダンス・音楽や絵画などの芸術活動」(164)が続く結果となりました。集団で行うスポーツや、多様な文化・芸術に触れられる体験が支持を集めています。さらに、「習い事、学習塾を選ぶ際、『非認知能力(思いやり、やる気、粘り強さなど)』の成長を意識していますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「強く意識している」(94)、「やや意識している」(156)を合わせると 7 割以上の親が意識していると回答しました。昨今の教育トレンドでもある「非認知能力」が、習い事選びの現場においても、重要な判断基準になっていることが明らかになりました。

Q.どのような習い事や学習塾または、学校外活動がよいと思いますか？＜MA=339＞



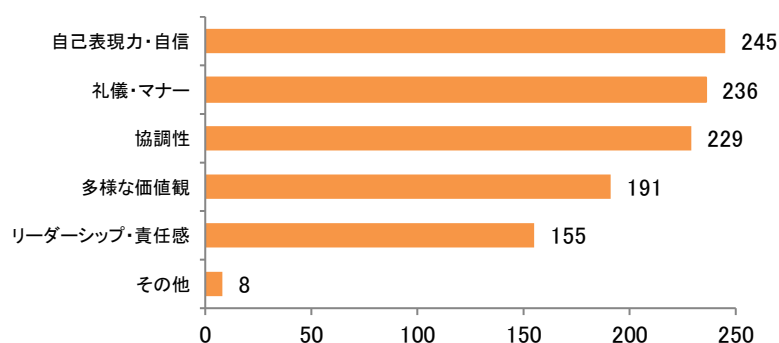
Q.習い事、学習塾を選ぶ際、「非認知能力(思いやり、やる気、粘り強さなど)」の成長を意識していますか？＜SA=339＞



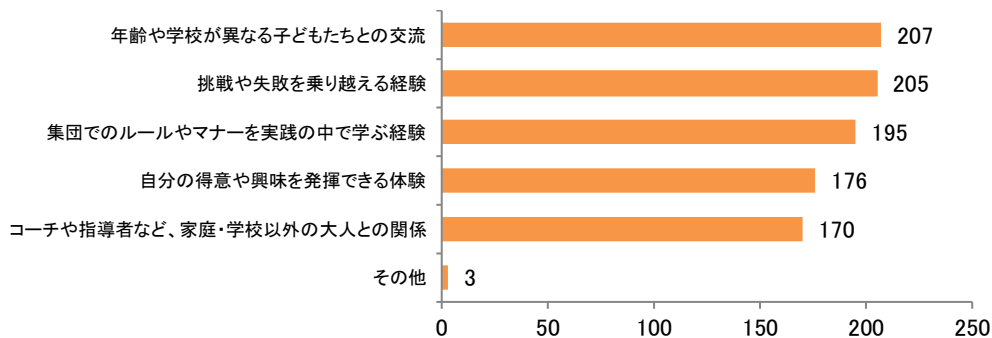
### 3. 習い事や学習塾などの学校外活動へ期待していることは「自己表現力・自信」の成長が最多回答！ 得られる経験として「他者との交流」などが挙げられ、人間関係の構築を重視している結果に。

「習い事や学校外活動を通じて、子どもにどのような成長を期待していますか？＜MA＞」と尋ねたところ、「自己表現力・自信」(245)が最も多く、次いで「礼儀・マナー」(236)となりました。また、「習い事や学校外活動を通じて得られる、子どもが『家庭や学校では得られにくい経験』とはどのような経験だと感じますか？＜MA＞」という質問では、「年齢や学校が異なる子どもたちとの交流」(207)が最多回答となりました。次いで「挑戦や失敗を乗り越える経験」(205)や「集団でのルールやマナーを実践の中で学ぶ経験」(195)が続くことから、親が期待する「自己表現力・自信」の成長に加え、多様な人間関係や挑戦の機会において、困難に立ち向かう精神的な逞しさや、集団生活で必要となる社会的な規律といった面においても、子どもの確かな成長を感じていることが読み取れます。

Q. 習い事や学校外活動を通じて、子どもにどのような成長を期待していますか？＜MA=339＞



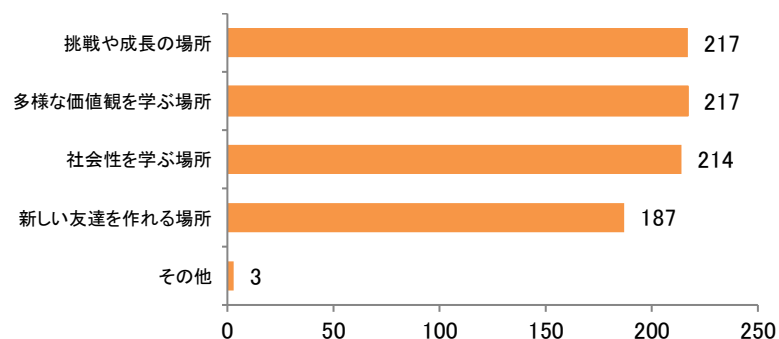
Q. 習い事や学校外活動を通じて得られる、子どもが「家庭や学校では得られにくい経験」とはどのような経験だと感じますか？ <MA=339>



#### 4. 習い事などは子どもにとって「新しい友達と出会える」重要な第3の居場所に！ 挑戦や自己表現ができる場として、家庭・学校以外での役割に期待が高まる。

「家庭や学校以外の『第3の居場所』として、習い事などの活動はどのような役割を果たす場所であると思いますか？ <MA>」と尋ねたところ、「挑戦や成長の場所」(217)および「多様な価値観を学ぶ場所」(217)が同率で最多の回答でした。次いで「社会性を学ぶ場所」(214)が続きました。この結果から、習い事などは、子どもが自ら挑戦し成長したり、多様な価値観に触れたりできる家庭や学校以外の貴重な「第3の居場所」として、より学びや成長に直結した役割が期待されていることがうかがえる結果となりました。

Q. 家庭や学校以外の「第3の居場所」として、習い事はどのような役割を果たす場所であると思いますか？ <MA=339>



#### 【『子ども未来キャリア』 概要】

『子ども未来キャリア』は、子どものときから夢や目標を持ち、グローバル社会で必要となる知識と能力を育む、キャリア教育用ボードゲーム教材です。ボードゲームを通じた疑似体験と、スライド教材を活用した学習を組み合わせた「遊び×学び」を融合した内容で、主体的に楽しく学ぶことができます。

- URL : <https://mirai-career.jp/>
- 販売対象 : 全国の学童施設や学習塾、学校など、教育関係の企業・組織  
子ども向けの体験型イベントを開催される企業等とのコラボレーション
- 教材対象年齢 : 小学生・中学生・高校生 ※その他要相談



## ■学習テーマ

- ・「教育用！資産形成ゲーム」
- ・「教育用！コミュニケーションゲーム」
- ・「教育用！事業投資ゲーム」
- ・「教育用！ディスカッションゲーム」
- ・「教育用！おつかいゲーム」
- ・「教育用！情報推理ゲーム」
- ・「教育用！キャリアデザインゲーム」
- ・「教育用！多様性ゲーム」
- ・「教育用！SDGs ゲーム」
- ・「教育用！防災ゲーム」
- ・「教育用！チームワークゲーム」
- ・「教育用！リーダーシップゲーム」



## 【『スクールTV』概要】

『スクールTV』は、「学習習慣の定着」を目的とし、全国の教科書内容に対応した小・中学生向けの動画教育サービスです。約 1,000 本のオリジナル授業動画を配信し、自ら能動的に学習する「アクティブ・ラーニング」のメソッドを日本で初めて動画内に導入しています。

また、学習習慣が身についた子どもが、もう 1 つ上の目標を目指すために開始された学習コンテンツとして、現在、教科書や教材出版社など他社のドリルも提供しています。

全国教科書対応・アクティブラーニング  
**スクールTV**

■URL : <https://school-tv.jp/>

■利用料金 : 無料

有料プラン(「成績向上目的の学習コンテンツ」を有料で提供)

・スクールTV プラス: 月額 300 円(税込)

・スクールTVドリル: 250 円(税込)～ ※学習教材により異なる

■対象 : 小学生(1 年生～6 年生)、中学生(1 年生～3 年生)

■学習内容 : 小学校 1～2 年生: 算数

小学校 3～6 年生: 算数・社会・理科

中学校 1～3 年生: 数学・社会・理科・英語・国語

■サービス特徴 :

### 1.「授業動画が見放題」

- ・小・中学校の教科書に対応した授業動画が見放題
- ・単元の中で「重要ポイント」に絞り込み、テレビを見るような感覚で楽しく学習できる
- ・映像総数: 約 1,000 本

### 2.「やる気を育てる講師陣」

- ・有名大学の現役学生を講師として採用
- ・お兄さん・お姉さんのような親しみやすさを演出

### 3.「アクティブ・ラーニングメソッド採用」

- ・文科省が推進する主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点を導入
- ・授業開始前の約 5 分間に「アクティブ・ラーニング動画」を採用し、子どもの興味を惹きつける
- ・定期的に質問を投げかけるなど適度に自分で考える機会を与えることで、「能動的」な学習が可能

#### 【株式会社イー・ラーニング研究所】

名称 : 株式会社イー・ラーニング研究所

本社 : 大阪府吹田市江坂町 1 丁目 23-38 F&M ビル 6F

東京支社: 東京都港区港南 1 丁目 8-40 A-PLACE 品川 1F

代表者 : 代表取締役 吉田智雄

URL : <https://e-ll.co.jp/>